



# むなかた市議会だより

平成22年9月定例会号

- 発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会運営委員会
- 〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
- TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
- 市議会ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/shinai/gikai/gikai-index.php
- メール=gikai@city.munakata.fukuoka.jp

## 平成21年度決算を認定

一般会計と特別会計・企業会計の13会計の総計決算額は、

**歳入** 550億2554万円  
**歳出** 545億1292万円

### 財政指標

前年度より決算規模が増加したのは一般会計と介護保険特別会計などで、減少したのは老人保健特別会計や下水道事業会計など。一般会計では翌年度への繰越財源を除いた実質収支(黒字)を10億3105万8914円としており、議会では健全な財政運営を評価しました。また、水道事業会計では、事業効率化のため広域化について整理・検討し、平成22年4月に宗像市・福津市・宗像地区事務組合の水道事業を統合しています。

市の財政基盤を将来に渡って持続可能なものとするために策定した「財政安定化プラン」を、平成22年6月に見直ししています。プランには、経常収支比率、実質公債費比率、市債残高の3つの指標を定めており、平成21年度決算はすべての指標で前年度より改善し、改訂後の目標を達成しています。財政運営は今後も厳しい状況が予想されるため、メリハリのある財政運営を求めました。

### コミュニティ施策検証審議会設置

全員賛成で可決

これまでのコミュニティ施策の現状や課題を整理し、今後のあり方を検討するために、新たに「コミュニティ施策検証審議会」を設置されます。この審議会を設置する議案は、6月定例会で「審議会の設置目的、検証する内容、基準等が不明確である」という理由で継続審査となりました。

た。そこで、閉会中の8月に社会常任委員会で審査し、9月定例会最終日に全員賛成で可決しました。全体的なコミュニティ施策を検証し、今後市民主体のまちづくり、市民協働のまちづくりがよりよい方向へ進められることが期待されます。

### 一般会計の主な内容

#### 歳入

##### 自主財源

自主財源の多くを占める市税は景気後退や地価下落などから減額されています。また、保育所保育料や市営住宅使用料で滞納額が増え、引き続き収納向上に努めるとともに充分な納付相談と対応を行う予定です。

##### 依存財源

平成21年度は、臨時的な交付金や補助金などにより大幅に増額しています。主なものは、経済対策にかかる臨時交付金や定額給付金事業費補助金、田熊石畑遺跡整備事業費補助金などです。

#### 歳出

##### 総務費

住民情報システムの再構築や地域インターネット拠点の見直しなどを行っており、将来的に約5億円の経費削減を見込んでいます。また、市の定住人口増加を目指したPR事業やコミュニティ・センター整備などを計画的に実施しています。

##### 民生費

平成20年1月に社会福祉法人に建物を移譲した宗寿園について、老朽化した施設の改修費用を移譲後10年間、年1000万円を上限として助成するものです。

##### 衛生費

ごみ減量に向けて、マイバッグ運動や生ごみ処理機購入費補助など様々な事業に取り組み、平成21年度の1人当たりのごみ排出量は前年度から減少しています。また、妊婦健診では助成回数を14回までに増やし、女性特有がん検診では受診促進のため無料クーポン券を配布しています。



##### 商工費

大島海洋体験施設は平成23年4月開業に向けて整備中です。休館している大島地区コミュニティ・センター(さざなみ館)として利用することになりました。また、道の駅むなかたを拠点として観光の振興を図っています。

##### 土木費

玄海地区の都市計画策定では、住民の理解を深めるために予定を延期し、準都市計画の指定を行いました。また、東郷駅北口駅前広場整備では、基本設計を策定し、地元との協議を行っており、平成26年度末に完成する予定です。

### 教育費 (50億20万円)

小中一貫教育全国サミットなどを開催し、全校区へ小中一貫教育の導入を推進しています。また、日の里中学校と玄海中学校の給食施設を整備し、平成22年度から自校式となっています。



### 平成22年度一般会計と特別会計・企業会計補正予算

決算による繰越金や交付税などの確定、人事異動に伴う人件費の補正などを行っています。

### 中央公民館と岬地区公民館閉館 (平成23年3月末)

賛成多数で可決

長年市民に親しまれてきた中央公民館と岬地区公民館が平成23年3月末に閉館されます。両館ともコミュニティ・センターの整備方針の決定に伴い、条例を廃止するものです。また、旧民俗資料館が岬地区コミュニティ・センターとして整備され、平成23年4月に開館予定です。



中央公民館跡地に河東コミセンが建設予定

### 土穴須恵線の用地取得

全員賛成で可決

都市計画道路土穴須恵線は、くろえいと北交差点から山田方面へ約800メートル延長予定。範囲は、くろえいと北土地



山田方面に延長される土穴須恵線

議会では、市民文化の中心地である中央公民館の廃止に反対する意見もありましたが、賛成多数で可決しました。



平成23年3月末に閉館する岬地区公民館

### 大島海洋体験施設管理条例制定

全員賛成で可決

平成23年4月にオープンする大島海洋体験施設の開所時間や利用料金などを規定する条例が制定されました。開所時間は、安全面や現在の渡船時間を考慮し

開所時間	4月～10月	午前8時～午後5時
	11月～翌年3月	午前8時～午後4時
海洋体験施設 入場料金	中学生以上	1日600円
	小学生	1日300円
釣堀施設 利用料金	中学生以上	3時間まで1,000円
	小学生	3時間まで500円

\*団体(15人以上)は割引あり  
 \*小学校就学前の児童は無料  
 (参考)釣堀を利用した場合(大人1人)  
 ①入場料金 600円  
 ②釣堀施設利用料金 1,000円  
 ③魚の原価そのほかの諸費用など  
 合計 5,000円程度(見込み)

# 一般質問

16人の議員が市の方針や行政事務など合計29項目の質問をしました。  
○議員が質問を届け出した順に掲載しています。  
○掲載項目などは質問をした議員がそれぞれの判断で選択しています。  
○質問の詳細は録画映像が11月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。

## 花いっぱい運動の今後の施策の概要と効果は

岩木 久明



自由ヶ丘地区に設置されたプランター

**問** 平成3年度から日里中央分離帯の植栽管理請負金額毎年約500万円に対して、自由ヶ丘地区では平成5年度にシンボルロード整備としてプランター39基を設置し、毎年約20万円の請負金額で花苗が植えられ、質の高い住環境づくりが実現されているが、市のシンボルロードと比べると、花いっぱい運動の展開は、行政だけではなく、コミュニティや自治区も含め、自分たちがきれいなまちをつくるという意識やボランティア精神を醸成する必要がある。  
**答** 葉山地区プランター122基の効果は、プランターは同地区からの要望で現在の個数となり、地元有志の団体が花いっぱい運動で配付される苗を植えている。効果は、市街地の緑化の推進、安らぎと潤いある住環境の形成などである。

## 「合併後の総仕上げ」で「コミュニティ宗像を

西山 隆

**問** 市西部・離島の活性化に向けて、来年4月オーブンの大島海洋体験施設、V字航路の運航開始など事業を推進している。  
**問** JR東郷駅に観光案内所を設置できないか。  
**答** JRなどの公共交通機関を利用した観光ルート上の必要性やボランティアなどの状況に応じて、設置を検討していく。  
**問** 関係するコミュニティ

**問** ティの支援は、情報の共有化を図り、協働で事業を実施していきたい。  
**生活支援の充実について**  
**問** 生活保護受給者に就業指導している就業支援員の身分は。  
**答** 委託業者ACRから派遣される職業カウンセラーである。  
**問** ケースワーカーと支援員の連携は。  
**答** 個別に計画的な支援をし、生活保護受給者の自立支援に連携して取り組んでいる。

## 今後のまちづくり、夢のある政策提案を

神谷 建一

**問** 宗像市の観光事業は、道の駅を中心として市外から年間600万人が訪れており、観光産業は今、最大のビジネスチャンスと考える。関係団体や行政が一丸となった取り組みが必要ではないか。  
**答** 農水・商工業における体験メニューを模索している。既存観光施設と体験メニューを融合させた観光メニューを市内外に広くPRしていくために関係団体と協力して実施したい。  
**問** 少子高齢化の原因として若者の結婚離れが進んでいる中、行政が積極

**問** 宗像市の観光事業は、道的駅を中心として市外から年間600万人が訪れており、観光産業は今、最大のビジネスチャンスと考える。関係団体や行政が一丸となった取り組みが必要ではないか。  
**答** 農水・商工業における体験メニューを模索している。既存観光施設と体験メニューを融合させた観光メニューを市内外に広くPRしていくために関係団体と協力して実施したい。  
**問** 少子高齢化の原因として若者の結婚離れが進んでいる中、行政が積極

**高齢者の安心・安全対策強化を**  
石松 和敏  
**問** 緊急通報装置給付事業の利用実態は。  
**答** 利用件数は年々減少。対象拡大などを研究予定。  
**問** 自主防災組織の現状と課題は。  
**答** 52団体で組織し、自主防災の意識の定着、実践が広がっている。課題は、防災意識の不足やリーダーなど人材確保。  
**問** 災害時要援護者支援台帳の整備の進捗は。  
**答** 20自治会と協定書を結び、733人を登録。  
**問** 災害時緊急伝達システムへの導入は。  
**答** 22年度に携帯電話やFAXなどへ発信するシステムを導入する予定。

## 核廃絶へ、若い世代と共に平和への行動を

石橋 文恵

**問** 被爆65年の夏、広島市の式典で核廃絶に向けた大きな動きがあった。本市も平和への各種事業を進めるため、平和基金条例の制定や被爆展・被爆者の証言記録などの企画運営に若い世代の力を。  
**答** 平和への機運が高まる中で基金が必要か検討していきたい。また、平和の尊さを次世代へ継承する取り組みは、積極的にできる方向を検討する。

## 地元負担が大きい漁港整備の分担金引下げを

吉田 益美

**問** 漁協の水揚げはピーク時の半分に落ち込み経営に影響を及ぼしている。県内で分担金の徴収は本市と糸島市のみ。分担金の引下げについて問う。  
**答** 事業計画見直しによる軽減、漁協の事業統合などで見込まれる経費削減を検討し引き下げたい。  
**問** 販路拡張のため蓄養施設やアワビの育成施設

**問** 漁協の水揚げはピーク時の半分に落ち込み経営に影響を及ぼしている。県内で分担金の徴収は本市と糸島市のみ。分担金の引下げについて問う。  
**答** 事業計画見直しによる軽減、漁協の事業統合などで見込まれる経費削減を検討し引き下げたい。  
**問** 販路拡張のため蓄養施設やアワビの育成施設

## 地域産業の連携でいきいきした宗像市を

田原 敏美

**問** 地域振興には、農業、漁業、商工観光などが果たす役割は大きい。しかし経営を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。  
**問** 道の駅、直販所は予想以上の成果を挙げている。この成果をもとに今後に向けた一層の支援体制が必要ではないか。  
**答** 道の駅を核とした産業振興を推進していく。よりに、道の駅や関係団体と十分に連携をとって取り組んでいく。

**問** 漁協の生産基盤の強化と負担金の軽減を。  
**答** 市の事業計画や漁協の経費削減などを検討して分担金を見直す。

## 乳幼児期の子育ち支援の更なる充実を

杉下 啓恵

**問** 親の就労にかかわらず、保育を必要とする子どもたちすべてに、よりよい育ちが保障されるよう支援すべきと考える。  
**問** 夜間や少人数、一時保育を実施している届出保育施設の利用者に対しても助成ができないか。  
**答** 届出保育施設は認可

**問** 親の就労にかかわらず、保育を必要とする子どもたちすべてに、よりよい育ちが保障されるよう支援すべきと考える。  
**問** 夜間や少人数、一時保育を実施している届出保育施設の利用者に対しても助成ができないか。  
**答** 届出保育施設は認可

## 男性の育児休業促進を

**問** 進まない現状で、育児効果をどう認識し課題

## 食べ物を捨てないで



**問** 食品ロス発生抑制の啓発と循環型社会構築を。  
**答** 広報紙などで啓発する。また、生ごみを原料に有機肥料を製造。農家の協力を得て、食と農の循環研究を実施している。



鐘崎漁港に停泊中の漁船

**そのほかの質問** B&G運動広場は改築予定の玄海小の運動場に変更される。代替地はどこか。

**そのほかの質問** B&G運動広場は改築予定の玄海小の運動場に変更される。代替地はどこか。

**そのほかの質問** B&G運動広場は改築予定の玄海小の運動場に変更される。代替地はどこか。



**そのほかの質問** 松くい虫防除の被害把握を

\*1 6次産業化 農・水産業者が生産したものに付加価値をつけ、直接消費者へと提供する総合的な産業を行うこと。農・水産業者が本来の農畜産物・水産物の生産（第1次産業）だけでなく、加工（第2次産業）や流通、販売（第3次産業）にも取り組むことから、第1次、第2次、第3次を合わせて6次産業とよばれる。由来する造語。  
\*2 構想日本 国や地域の政策をいすれの政党、業界からも独立した立場で提案し、その実現を目指す活動を行う非営利組織。設立以来、主に行政、財政、社会福祉、教育、地方分権などをさまざまな分野で具体的な政策を提言している。

\*3 農業活性化機構 正式名称は一般財団法人むなかた地域農業活性化機構。農地の面的な集積促進のため、宗像市・福津市・JAむなかたの三者が出資し平成22年9月に設立した一般財団法人  
\*4 3R REDUCE(リデュース、ごみの発生抑制)、REUSE(リユース、再利用)、RECYCLE(リサイクル、再生利用)の頭文字をとった言葉

### ごみ減量めざし広げよう ダンボールコンポスト

新留 久味子

手軽に生ごみを堆肥化するダンボールコンポストは市民協働事業として広がってきている。

**問** この事業に対する市の考えは。

**答** 生ごみ減量を推進する上で有効な手段の一つと考えている。市民協働事業終了後も、環境団体と連携して普及・啓発に努めたい。

**問** 補助金申請手続きを簡素化できないか。

**答** 手続きを「コミュニティで行えるようにしてほしい」という要望もある。関係部署で協議する。各地区「コミュニティ」



センターでダンボールコンポストの機材購入ができないものか。  
**答** 現在、どのような体制が良いか関係部署と協議中。協力が得られるコミュニティから取り扱いをお願いしたい。

#### そのほかの質問

高齢者の地域見守りネットワークの強化を求める

### 住宅リフォーム補助制度は 地域経済効果大

植木 隆信

**問** この補助制度は多くの自治体で実施され、リフォームを考えている住民はもとより、不況で仕事に減速している地元中小業者に活気を与えている。その経済効果も、市の補助の20倍にもなっている。宗像市でも早期の実施を望む。



**答** 現在策定中の耐震改修促進計画で、耐震改修をリフォームとすることで、来年度から助成する。また、宗像市転入者中古住宅購入補助制度により市内事業者へのリフォームの発注に対し、20万円を上限とするリフォームな

#### 旧国道3号の安全対策を

**問** 市の幹線道路でありながら、歩道が極端に狭い箇所がある。早急な改善と都市計画道路の見直しを求める。

**答** 旧国道3号は、現在福岡県が管理しているため、今後県に対して改善を要望していく。

### 市街地活性化の取り組みを

小田 英俊

**問** 東郷や赤間にシャッターが下りた店が多くなった。以前は大型店と共存して商店街があったが、再活性化の方策はないか。また、東郷駅北口整備計画で周辺を巻き込んでの活性化はできないか。さらに、赤間駅前高度利用化・活性化のために税の減免補助などはできないか。

**答** 市街地活性化の中心拠点である赤間駅周辺や地域拠点である東郷駅周辺には、商業インフラなどの生活基盤の充実が必要であり、関係者と充分に協議し、商業施設など



#### 釣川に魚道の整備を

**問** 釣川の井堰は、魚の遡上を妨げている。簡単にできる魚道の整備を。

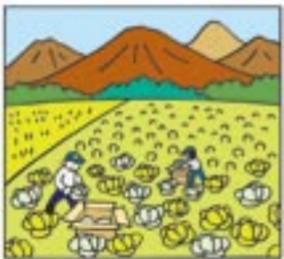
**答** 仮設の魚道設置には多くの課題があり研究が必要。県管理の河川は、井堰の改修時に魚道が順次設置されている。

### 振興センター法人化と 市が目指す農業振興策

花田 鷹人

**問** 法人化の理由、目的および、事業目的について伺う。

**答** 農地の面的な集積の促進、効率的な利用のため振興センターを法人化し、農業活性化機構(3)を設立。  
**問** 生産効率化についての支援を求める。



**答** 農業活性化機構に対し、農機具の貸出などを要望していく。  
**問** 農産物の消費拡大策について伺う。  
**答** 農業活性化機構による特産品の開発のほか、農業の6次産業化による消費拡大を期待している。  
**問** 循環型社会の実現に向けての本市の取り組み、構想について伺う。  
**答** 宗像市一般廃棄物処理基本計画に基づき3R(\*4)を推進しており、市民、事業所、行政との協働によるごみ減量を目指している。

### 介護に希望を、介護保険10年を経て

末吉 孝

**問** 介護保険10年を振り返って、制度の意義・問題点・課題などの認識は。

**答** 介護保険制度により、介護サービスは広く定着してきたが、急速な高齢化に制度が対応できていない。施設入所待機者解消やサービス充実とともに公費負担の増加など財源の確保が大きな課題。



**問** 今の介護認定の方法で高齢者の介護状況を正確に把握できると思うか。

**答** 認定は全国一律の基準に基づき運用しており、介護状況を正確に把握できると考えている。  
**問** 高齢者への負担増で

必要な介護サービスを受けられない人が増えている。宗像市で要介護者の経済状況と介護給付実態を調査したことがあるか。  
**答** 調査したことはない。  
**問** 市長として介護保険制度の抜本的な見直しを国に求める考えは。  
**答** 財政問題も含め、国に強く要望していく。

### 教育施策の現状と課題は

日隈 一憲

**問** 学校・家庭・地域との連携を図り進めている信頼される学校づくり、子育て・子育てを支えるまちづくりなど「安心して子どもを育てることができるまち宗像」の教育の創造について。

**答** 学校・家庭・地域との連携を図り進めている信頼される学校づくり、子育て・子育てを支えるまちづくりなど「安心して子どもを育てることができるまち宗像」の教育の創造について。



**問** 生きる力の育成を図る教育活動の進捗状況は。  
**答** 家庭や地域と連携し、各小・中学校が一貫した教育活動を計画的に実施している。  
**問** 小中一貫教育の充実と拡大を推進する課題は。  
**答** 各中学校区の特長や、地域・家庭への啓発

**問** 新設予定の子どもの位置づけと理念は。  
**答** 子育て支援を市政の重要な施策の一つと位置づけ、子ども育成関連の業務を一元的に取り組み。

### 児童虐待ゼロの宗像を目指して

小島 輝枝

**問** 本市の児童虐待相談と通報件数は。  
**答** 平成21年度の相談件数は62件、新たな通報は16件。

**問** 本市は児童虐待防止のための予防、発見、親子関係修復までのシステム作りはできているか。  
**答** 県、警察、学校など関係機関と連携して要保児童虐待対策地域協議会を設置し、児童などの適切な保護や支援を図り、児童虐待への対応を行っている。



市役所ロビーに試行で開かれた障がい者施設による売店

民対象のシンポジウムの開催と日本児童虐待防止学会の誘致を提案する。  
**答** 虐待防止意識を高めるために、シンポジウム開催や学会を誘致できるよう努力する。

#### そのほかの質問

障がいのある人が働く常設売店を市役所ロビーに

### 今年小・中学校に導入したICTの 活用状況は

福田 昭彦

**問** ICTを活用したシステムで情報教育を推進するため昨年の補正予算の内、約2億6千万円でパソコンやデジタルテレビを小中学校に導入した。このシステムが学校で十分に有効活用されれば①教育の質の向上②校務の効率化③情報機密の確保などが図られる。導入成功のポイントは、いかに先生に慣れ親しんで使ってもらえるかにかかっているが、活用状況はどうか。

**答** ICTの有効活用に関しては、学校関係者、情報化教育専門の大学教授などで構成される宗像



市学校教育情報化計画策定委員会での審議を受けて、情報モラルの向上や教育効果の高い授業を実施しているほか、情報化社会に対応できる児童・生徒の育成も併せて行っている。また、現在教職員に対するシステム運用に関する研修を実施している。

### 農業委員会との 意見交換会を開催

議会では、9月27日に初めての試みで、市農業委員会委員との意見交換会を開催しました。

初めに、福岡農林事務所北筑前普及センター長の渡孝志さんによる「宗像地域の農業の現状と課題について」の基調講演が行われ、議員は真剣な眼差しで聴き入っていました。

また、その後の意見交換会では、農業者にとって最大の悩みである担い手不足やイノシシ被害対策について、活発な議論がなされました。

議会では、今後も日本の基幹産業の一つである農業について多くの知識を得るために努力を重ねることも、一歩でも課題解決のための施策を提案していく必要性を感じた有意義な一日となりました。



農業に関して、活発な議論をした意見交換会

